

bond@あらかわ相談室は

女の子たちにとって居場所の一つにもなっている。
面談に来てくれた女の子たちとの
エピソードを紹介する。

episode
1

「今度東京に行くので面談行きたいです。筆談でも大丈夫ですか？話すことができません」と、届いたメール。bondの面談で筆談は珍しいことではない。
女の子は高校生の頃、朝起きた時に突然声が出なくなってしまったのだ。
一人暮らしで普段、人と関わることはほとんどない。誰かと話すときには筆談しているが、筆談では言いたいことの10分の1も伝わらないという。自然と1人で思い悩む時間も増えていった。声が出なくなった頃の記憶も曖昧だ。どうしていいかわからない感情が心に渦巻いていることが伝わってきた。
彼女は「普段、誰かと話すことがないし、自分の気持ちをただ誰かに話を聞いてほしい」と、東京へ出てくる度にbond@あらかわ相談室へ足を運んでくれるようになった。同時にカウンセリングを受けに病院へも通いながら自分と向き合っている。

episode
2

定期的に相談室を訪れる高校生の女の子がいる。好きなアイドルのこと、彼氏のこと、飼っている猫の話など、日常の様々な出来事を聞かせてくれる。
スタッフと話すときは言葉もスラスラと出てくるのだが、全く話すことができなくなってしまう状況があり、悩んでいた。授業中に先生に当てられたとき、発表の時間、そして面接。人から見られる、評価される場面になると、頭で浮かんでいるのに声が出なくなり、人前で話すことができなくなるのだ。
空いた時間にアルバイトをしたいと考えていたが「面接」となると途端に話せなくなってしまい、採用に至らなかった。
その後、親戚の勤め先の工場部品を組み立てるアルバイトを始めたが、誰とも言葉を交わさないまま1日が過ぎることもある。
「人と話すこともコミュニケーションも難しい。気軽に話せるこの場所で、人と話すトレーニングがしたくて、毎月2回はここへ来ているの」

episode
3

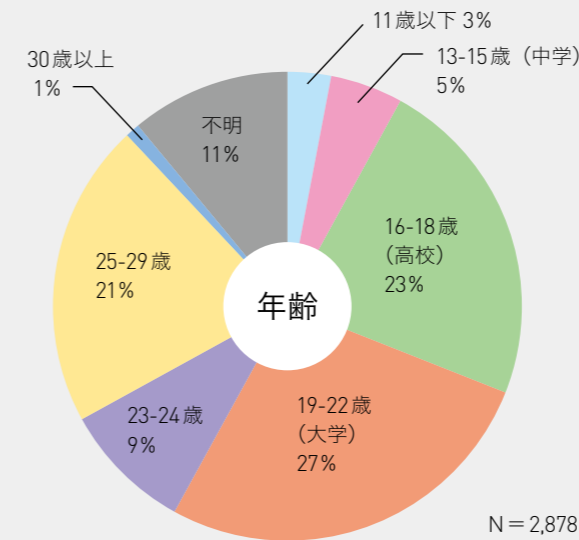
「今日は誕生日なんだ」
bond@あらかわ相談室に遊びにきてくれた中学生の女の子。急いでケーキを準備し、ささやかながらお祝いをすることにした。少女は親に祝ってもらったことはなく、誕生日は嫌いだと話してくれた。「お母さんにとって私は『作品』でしかないんだよ。テストは100点が当たり前で、順位も一桁じゃないと叩かれるんだ。」
母親から理想の娘として、行き過ぎたしつけや教育を受けている彼女の息苦しい日々を想像した。
bondで過ごす時間が少しでもくつろげる時間になればと願った。
バースデーソングをスタッフと一緒に歌い、ケーキのろうそくを吹き消した時、少女の顔がほころんだ。生まれた日をお祝いする時間をこんなふうに大事にしたい。

bond Project本部、bond Project@あらかわの2カ所で実地しました。

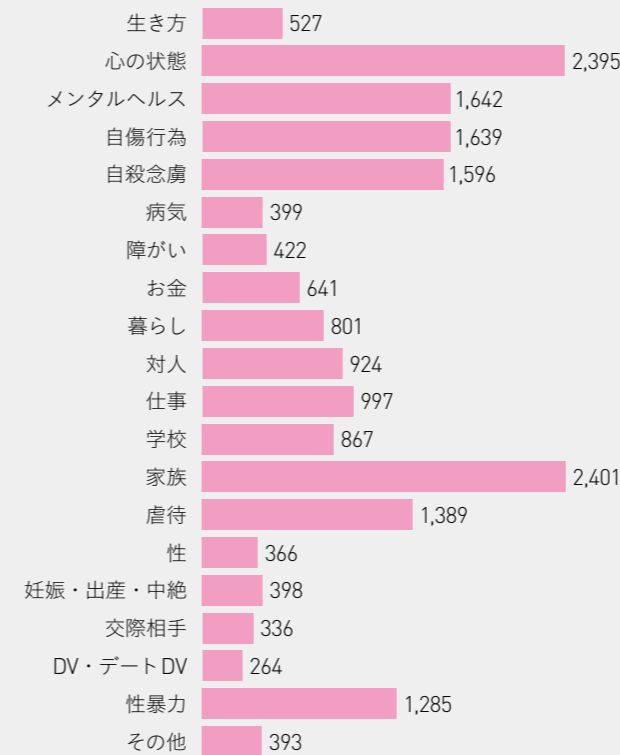
平成27年4月～平成28年3月の面談・電話相談より。

総相談件数 2878件

- bond Project本部
面談（出張面談含む）：随時対応
電話相談：毎週水曜日22時～翌4時
- bond Project@あらかわ
面談：毎週火、木、日曜日14～21時
電話相談：毎週火、木、日曜日17～19時
※平成28年4月よりbond Project@あらかわの相談受付時間が変わりました。
面談：毎週火、木、日曜日13～20時
電話相談：毎週火、木、日曜日16～19時



問題の背景要因
(複数回答)



主訴

N = 2,878

